

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第1回 行田市水道事業運営審議会
開催日時	令和3年8月11日(水) 開会：午後2時 ・ 閉会：午後3時20分
開催場所	行田市水道庁舎 2階 第2会議室
出席委員名 氏	吉田豊彦会長 高鳥和子副会長 梁瀬里司委員 斉藤博美委員 小川康之委員 栗原芳江委員 島田洋子委員 新島初芳委員 計8名
欠席委員名 氏	清水隆委員 相原雅洋委員
事務局	長谷見都市整備部長 橋本上下水道経営課長 河村主査 金子主査 加藤水道課長 田島主幹 石川主査
会議内容	(1) 令和2年度行田市水道事業会計決算(案)について(報告) (2) 令和3年度行田市水道事業会計予算について(報告) (3) 水道料金改定後の収入状況について(報告)
会議資料	(資料名) ① 次第 ② 行田市水道事業運営審議会委員名簿 ③ 行田市水道事業運営審議会条例 ④ 資料1 令和2年度行田市水道事業会計決算(案)について ⑤ 資料2 令和3年度行田市水道事業会計予算について ⑥ 資料3 水道料金改定後の収入状況について ⑦ 令和3年度行田市水道事業会計予算書並びに附属書類
その他必要事項	傍聴者 3名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料確認 ・委員出席状況報告 <p>2 あいさつ</p> <p>都市整備部長あいさつ</p>
	<p>（行田市水道事業運営審議会条例第6条第2項に基づき、会長が議長を行う）</p>
議長	<p>3 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの提案により、報告を説明する順を（3）水道料金改定後の収入状況について、（1）令和2年度行田市水道事業会計決算（案）について、（2）令和3年度行田市水道事業会計予算についてと変更する。 ・事務局より説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・報告「（3）水道料金改定後の収入状況について」を資料3を用いて説明する。次に、報告「（1）令和2年度行田市水道事業会計決算（案）について」を資料1を用いて説明する。続けて、報告「（2）令和3年度行田市水道事業会計予算について」を資料2を用いて説明する。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・初めに報告「（3）水道料金改定後の収入状況について」に関する質問等はあるか。
斉藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・料金改定により、用途別から口径別料金体系となったが、口径が大きい場合、基本料金が大幅に高くなった。その対応策や、対応した件数は。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・口径13ミリにおける1か月当り基本料金は1,300円、口径20ミリは1,400円であるが、口径25ミリは4,000円と差額が大きい。そのため、口径25ミリ以上を使用している方を対象に口径を減径する工事を実施した。件数については、口径25ミリから20ミリが70件、口径40ミリから25ミリが7件、口径50ミリから40ミリが4件、合計81件の減径を実施した。
斉藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・その対応は、使用者の負担を軽減させる効果があり、評価したい。 ・月別水道料金のグラフに、7月から10月までの基本料金無料化の加算分が含まれていないのは見づらいのでは。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・水道料金無料化の計算方法については、全国的に統一となっており、このように表現する必要がある。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に新型コロナウイルス感染症対策に関連し、水道料金の一部免除や料金支払いの猶予が実施された。今回の基本料金無料化

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 分は、全て一般会計からの繰入金で賄われたか。 対象となる全額について、地方創生臨時交付金による繰入れとなった。その他、料金無料化のためのシステム改修の委託費用等も対象となった。
小川委員 事務局 梁瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> 支払い猶予については、どのくらいの規模、件数があったか。 支払い猶予の合計額は1,415,635円、67件であった。 水道料金無料化により、11月の支払い分から新料金が適用になったとの事であるが、その際、料金の問い合わせはあったか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 請求額の変動が大きかったため、2件の問い合わせがあった。丁寧に説明し、御理解いただいた。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 次に報告「(1) 令和2年度行田市水道事業会計決算(案)について」に関する質問等はあるか。
新島委員	<ul style="list-style-type: none"> 有収率89.31%は、前年度から1.13%減少しているが、漏水が増加しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 主には漏水が原因と思われるが、令和2年度は建設工事費が約1億円増加した。そのため、工事の際に管内を洗浄する等の使用水量が増加した。その他に、火災などの消火の際、水道水を使用するため影響がある。
新島委員	<ul style="list-style-type: none"> 予算書の有収率は91.0%とあるが、根拠はあるか。また対策を講じているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 有収率については、認可の目標値である。対策については、漏水を軽減するために耐用年数を考慮した配水管の更新を目指している。また最近では、個人所有の給水管の漏水が多発しており、建替えに併せて給水管の取出し替えをお願いしている。
斉藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 普及率96.29%は他市に比べて低いですが、水道を利用するように促しているのか。また、大口の企業等で水道を利用していないと聞くが、その対策は。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 井水を利用している方に、水道使用についてのピーアールは実施していない。水質の悪化等により、水道使用に変更する方はいる。また企業により、大量に水を使用する業種において、井水を利用するケースがあるが、その場合については、水道水の使用をお願いしている。
斉藤議員	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度では、電気調達を新電力会社から導入するなどコスト削減を図り、今年度は水道料金口座振替利用者キャンペーンを実施すると説明があった。その他に経費を削減するため、新たな事業を実施できないか。
事務局 斉藤委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は予定していない。 純利益が増加しているが、今後の料金改定率12%の見込みは。 令和2年度に料金改定を実施したことで、経営状況は改善している。経営戦略では、令和7年度に12%の改定率で料金改定を見

齊藤委員	<p>込んでいるが、その前に現状の経営状況を加味し、アセットマネジメント等の予算シミュレーションを実施した上、再度検討する予定である。そのため、改定率は増減する可能性があり、現在は未定である。御客様の負担については、慎重に検討していく。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・東部配水場は現在休止しているとの事であるが、いつから休止しているか。また、施設の利用率は。
齊藤委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・東部配水場は、令和元年度から休止している。東部配水場からは小針地区や真名板地区へ配水しているが、現在、向町浄水場の水圧で送水が出来ている。施設の利用率は、全体となるが平均で約50%である。 ・なぜ利用率が低いのか。今後の予定はあるのか。 ・近年、人口減少に合わせ水の需要が減少してきているが、現計画の当時は水需要が増加することを見込んでいた。そのため、今後は施設のダウンサイジング等を検討し、効率的な施設の運営を図りたい。
齊藤議員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・向町浄水場中央監視装置等更新工事は予算14億円で進めていると思うが、現在の契約状況を教えてほしい。 ・今現在においては、詳細な説明はできない。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・向町浄水場中央監視装置等更新工事を資金不足のため、平成30年度から令和3年度に延期したとのことだが、安全な水運用に支障をきたさないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設における耐用年数が設けられているが、大幅に更新が遅れている状況である。その中で、それぞれの施設の運転状況を判断し、更新時期を調整している。リスクがない訳ではないが、減価償却率と予算を調整した上、施設更新の優先順位を決定し運営している。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な水運用を継続するためには、適切な経費が必要となる。そのためには、適切な料金改定を実施しなければならないことを水道使用者に伝えることも重要である。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・次に報告「(2) 令和3年度行田市水道事業会計予算について」に関する質問等はあるか。
梁瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> ・予算書で給水車購入費4,400万円を見込んでいるが、このくらいの費用が掛かるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・当初2台購入を予定していたが、耐用年数を考慮し1台とした。現在、給水車の更新手続きを行っている。
梁瀬委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・給水車の耐用年数は。 ・特殊自動車に分類されるため、5年である。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかに質問等はないか。 ・なければ本日の報告はすべて終了したので、議長の職を解かせていただく。

副会長

4 閉会
あいさつ 高鳥副会長